複合ビル20年春完成

札幌 サンデパートなど再開発

ディスカウント大手のドン・キホーテが入居するサンデパートビル（札幌市中央区南2西3）など7棟を複合高層ビル1棟に建て替える再開発事業が来年秋にも着工し、2020年3月に完了することが26日分かった。同月中にテナントを一新してオープンし、ドン・キホーテは退去する見通しだ。

ドンキは退去見通し

7棟の個人、法人計14の地権者と不動産大手の大京（東京）が27日、再開発組合を設立し、本格的に事業に着手する。計画は当初、17年度の工事完了を目指していたが、建設費の高騰で事業の見直しを余儀なくされ、工期がずれ込んでいた。

7棟のビルには約40店のテナントが入っており、再開発組合は来年秋までの退去を求める見通し。ドン・キホーテの広報担当者は、退去や移転の計画、時期について「現時点で決まっていることは何もない」と話している。

新しいビルは地上28階地下2階で、延べ床面積は4万2900平方㍍。地下2階～地上7階に商業施設やオフィス、地上7階～28階にマンション（約140戸）が入る。関係者によると、商業フロアのテナントは未定だが「ファッション性の高いテナントが中心になる」という。

札幌駅前通と狸小路商店街が交わる場所にあるサンデパートビルは1962年に開業。老朽化に伴い、再開発計画が過去にも浮上したが、地権者の意見がまとまらず頓挫した経緯がある。再開発に向けて地権者が組合を設立するのは今回が初めて。事業費約240億円のうち、約64億円を国と札幌市が補助する。

道内店舗シェア「4割」

セブン副社長 コンビニで積極策

コンビニエンスストア最大手のセブン－イレブン・ジャパン（東京）の古屋一樹副社長は26日、札幌市内で北海道新聞の取材に対し、道内で積極的な出店を進め、現在30％の店舗シェアを40％まで拡大する考えを示した。

道内にはコンビニが約3千店あり、セブン－イレブンは道内2位の930店（10月末現在）。古屋副社長は「すぐに千店を達成する」と述べ、2017年夏までに道内千店とする目標は達成可能との見通しを示した。その上で「良い場所に質の高い店を出していけば道内の店舗数が1100店、1200店になる可能性がある。シェアを40％まで持っていきたい」と語った。

また「コンビニで買い物をしている人は、（食品小売業の）マーケットの一部でしかない」と指摘。地域限定の商品開発や配食サービスを拡充し、現在40％の道内コンビニの売り上げシェアについても「10％ポイント上乗せする」と意欲を見せた。

「道内でコンビニの出店余地はまだまだある」と語る古屋一樹副社長

道内のコンビニ店舗は、地場最大手のセイコーマート（札幌）が最多の1082店（10月末現在）。同社とセブン－イレブン・ジャパンの2強体制が続いている。

札幌市と協力し雇用や商品開発

セブン－イレブン・ジャパン（東京）は26日、札幌市と地域の雇用促進や商品開発で協力する「さっぽろまちづくりパートナー協定」を締結した。同社は2008年に道と包括連携協定を結んでいるが、道内の市町村とは初めて。

協定は①高齢者や女性の雇用促進②札幌市産の農産物を使った商品開発と販売促進③災害時の生活物資の供給－など12項目。商品開発の第1弾として、27日から札幌市と近郊の447店で、JAさっぽろのカボチャ「大浜みやこ」を使ったムースや、札幌市産のタマネギを使ったパンなど4品を販売する。

締結式で、秋元克広札幌市長は「雇用の面で高齢者や女性の活躍の場が広がるのは意義がある」とあいさつし、セブン－イレブン・ジャパンの古屋一樹副社長も「札幌市とのパートナーシップを密にしていきたい」と述べた。

3カ月連続で北ガス値上げ

北電2カ月連続下げ

北海道電力と北海道ガスは26日、発電用燃料や都市ガス原料の価格変動分を毎月の料金に反映させる燃料費（原料費）調整制度などに基づく、来年1月検針分の電気、ガス料金を発表した。電気料金は2カ月連続の値下げ、ガス料金は3カ月連続の値上げとなる。

北電の電気料金は標準世帯（30㌔㍗時使用）で、前月より114円安い7854円となる。一方、北ガスの都市ガス料金は標準世帯（月27立方㍍使用）で、前月より12円高い5669円となる。

来年1月の料金算定の基になる8～10月に、火力発電所の燃料である原油や石炭の価格が低下したことや、都市ガス原料である液化天然ガス（LNG）価格が上昇したことが要因という。

十勝産小豆 立派な和

製造会社と生産者 幕別で初の交流会

十勝産小豆を使った和菓子を試食する生

【幕別】十勝産小豆を使う和菓子の製造会社と、十勝の生産者などとの初の交流会が26日、十勝管内幕別町のホテルであった。老舗の虎屋（東京）、白松がモナカ本舗（仙台）など27社と農家ら約250人が参加。生産者は小豆の風味などが生かされた和菓子を味わい、今後の小豆生産に気持ちを新たにしていた。

全国和菓子協会とホクレンなどが、両者のつながりを深め、小豆

朝採り＋ぷらす

■札商が「ものづくりスペシャリスト」表彰

札幌商工会議所は26日、優れた技術者を表彰する2015年度ものづくりスペシャリスト表彰の授賞式を札幌市内で開き、6氏に各賞を贈った。ベテラン技術者が対象の熟練部門最優秀賞には、50年以上宮大工として活躍する木村紀昭さん（北一タカハシ建設）＝写真右＝が選ばれた。

同表彰は、ものづくりに関わる技術者の技術水準や地位の向上を目的に、札商が昨年度創設した。本年度は熟練、新技術・技能、新星の3部門に計20人の応募があり、専門家らの審査で部門ごとに最優秀賞と優秀賞を選んだ。木村さん以外の受賞者は次の通り。（敬称略）

◇最優秀賞▽新技術・技能部門　森久見子（特殊衣料）▽新星部門　石川晴奈（玉造）◇優秀賞▽熟練部門　長内義信（北興化工機）▽新技術・技能部門　斎藤昭彦（北海道バイオインダストリー）▽新星部門　上西保朗（日照電機製作所）

■国産原料だけのビール

サッポロビールは道内産を含む国産原料のみでつくったビール「ニッポンピルス」＝写真＝を、12月8日から数量限定で発売する。

原料は、うまみ成分が多い道産大麦「りょうふう」や、ふくよかな香りが特長の上川管内上富良野町産ホップ「リトルスター」などを使っている。

アルコール度数6％。税込みの店頭想定小売価格は350㍉㍑缶で260円、500㍉㍑缶は335円。全国で20万㌔（1㌔は大瓶20本換算）。問い合わせは同社お客様センター☎0120・207800へ。

■オレンジ入ったチョコ菓子

明治は、チョコレート菓子「ハレル　プチガトー」＝写真＝を発売した。来年2月末ごろまでの期間限定販売。オレンジの皮と洋酒をガトーショコラの生地に練り込み、甘酸っぱい風味と華やかな香りを楽しめる味わいに仕上げた。50㌘入りで参考小売価格は300円。問い合わせは通話無料のお客様相談センター☎0120・041082へ。

■四つの機能の複合筆記具

今年の話題・注目商品 1位は「爆買い」

消費者が選んだ2015年の話題・注目商品

1位	爆買い／インバウンド
2	錦織圭
2	ラグビーワールドカップ2015日本代表
4	マツコ・デラックス
5	火花（又吉直樹）
6	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
7	北陸新幹線
8	自治体プレミアム商品券
9	ふるさと納税
10	インスタグラム

※電通調べ

電通は26日、消費者が選ぶ2015年の話題・注目商品のランキングを発表し、首位は中国人観光客らで話題となった「爆買い／インバウンド」だった。2位はスポーツで世界的に活躍したプロテニスプレーヤーの「錦織圭」と「ラグビーワールドカップ（W杯）2015日本代表」が選ばれた。

電通は爆買いについて「日本製品を買い求める外国人観光客の様子がメディアで頻繁に紹介され、消費者に大きな衝撃を与えた」と指摘した。

3月に延伸開業した「北陸新幹線」（7